

# 釧路南ロータリークラブ会報

第33回 例会報告 2010.3.5 通算1339回

・点

鐘

工藤会長

・会長挨拶

## ・ロタリーソング

「奉仕の理想」「君が代」「四つのテスト」



ソングリーダー 清水 哲会員



皆様こんにちは。

先週の家族同伴ひな祭り例会では親睦委員長を始め親睦委員の皆様用意や準備等色々ありがとうございました。私の孫は、親睦委員のお手伝いが出来た事に、とても感激で、家に帰ってから嬉しかったと話をしておりました。子供なりに頼られる事のうれしさを感じたのだと思います。楽しい一時をありがとうございました。

また、3月2日(火曜日)には、釧路ベイロータリークラブさんのひなまつり例会に、毎年ですがご招待して頂き、出席させて頂きました。演壇の前には、松尾パスト会長さんの雛人形を飾り、桃の花がお雛さまを一段と引き立てておりました。沢山のご家族の参加で、とても楽しく、ほほ笑ましいひな祭り例会でした。さらに、祝宴では琴ひな祭りスペシャルライブがありました。演奏者は橋本はるみさんと橋本みぎわさんで、橋本はるみさんは釧路市内で琴の教室を開き多くの琴演奏者を育てていらっしゃる方とのことです。そして橋本みぎわさんは橋本はるみさんのお嬢様で、25絃筆ユニット「心花(KoKohana)」で、CDを出しての、ご活躍中とのことで3月10日に、釧路全日空ホテルでディナーライブが開催されるとの事です。興味のある方は是非足をお運び頂けたらと思います。

さて、本日のプログラムは、識字率向上月間に因んでとなっております。後ほど福井会員宜しくお願い致します。さらに、次週の例会は夜間例会「会員増強について」です。会員に推薦したい方々をお招きして、南RCを知って頂き、新入会員獲得の機会と思っております。南RCの発展のためにも新しい仲間を増やして行きたいと思っておりますので、皆様のご協力宜しくお願い申し上げます。

## ・お客様と来訪ロータリアンの紹介

中標津ロータリークラブ 長谷川 眞君  
中標津ロータリークラブ 青山 勇君  
中標津ロータリークラブ 栗崎 勝秀君

## ・入会記念祝

長井 一広会員 H 20. 3. 7 (2年目)



## ・幹事報告



- \* 3月13日に行われますIMでの職業奉仕の発表は福井会員にお引受いただきました。仮装カラオケは、選考に苦慮いたしました。山本会員と長倉で対応させていただきます。
- \* 来週の12日は、会員増強例会と題し、入会予定者をご招待する夜間例会です。30周年に向けて30名体制を目標に、皆様のご協力をお願いいたします。
- \* 根室RC、別海RC、釧路北RC、釧路西RCよりプログラム・会報を拝受しております。

## ・委員会報告

### 親睦委員会

#### ・本日のニコニコ献金

長井 一広会員 入会記念祝として  
花田 善廣会員 友、遠方より来る

### 出席委員会

会員25名 11名出席 メイキャップ3名 56%

## ・中標津ロータリークラブ 長谷川様スピーチ



今までの中標津RCと当クラブとの交流のことや、お互いの会員増強などのお話をいただきました。

## ・本日のプログラム

### 「識字率向上月間に因んで」

担当 メディア委員会

メディア委員長 福井克美



#### ・識字能力とは

従来、識字能力とは読み書きの能力と定義されています。また、コンピューターを使う能力、病気の予防法を理解する能力、標識を見分ける能力など実用的な能力も含まれます。

#### ・識字率向上に関連する重要な日

国際ロータリーが識字率向上について取り組み始めたのは、24年前の1986年で、国際ロータリーの強調事項となりました。「識字率向上月間」を定めたのは、それから11年後の1997年7月に定められました。それ以来毎年7月を月間としていましたが、2005年の理事会で、2006～07年度から3月に移行されました。

#### ・識字能力の重要性

RI理事会では、世界中に識字能力向上の大切さを強調し、独自の識字率向上プロジェクトを開発し、ロータリアンが世界で行う取組を広報する絶好の機会を、「識字率向上月間」として世界的に識字率を高めるための機会としています。

#### ・世界の現状

ユネスコの推計では、世界で15歳以上の8億人の人々が読み書きの能力がなく、中でも男性より女性の方が多く女性や子供が64%で五億人を占めています。読み書きや計算能力が備われば、内戦も少なくなり、経済発展も速やかで、人々が健康であると言えます。

#### ・識字率向上を支援するロータリー

辞書の寄贈、学校建設、個人指導などの奉仕活動を積極的に行っています。

#### ・ロータリアンの識字率向上プロジェクト

毎年何千ものプロジェクトを実施しています。幼児期の識字率向上教育プログラムを広め改善にしています。教育能力を高め、学校に援助を提供し地域社会の生徒のニーズに応えています。成人学習プログラムを広めます。識字能力習得への障害を減らし、前向きな地域環境づくりを推進しています。

### ・ライトハウス識字率プロジェクト

1997年～98年度国際ロータリー識字・計算の能力向上実行グループは、発展途上国の10億人に識字能力向上を推進するキャンペーンを具体的にし、世界中のロータリアンに参加するように呼びかけました。このプログラムは、「ライトハウス(灯台)作戦」と名付けられ、タイで最初の実施され、その後多くの発展途上国で成功を収めています。灯台が安全な航路を示すように、識字を通じて人々に歩む道を示すことを目的としています。

### ・語学力集中研修講座(CLE)

最初は、タイの学校向けに開発された教授方法で、読み書きを中心とした識字教育を目的としています。現地で教育プログラムの内容が決めるので、自分たちの文化遺産に対する理解を深め、さらに保健・環境その他の問題を高めるのに役立っています。RIのライトハウスプロジェクトは、オーストラリアの言語学者、ウオーカー博士の提唱する手法によって顕著な成果を上げています。現在タイの全ての国立学校で採用されているほか、多くの発展途上国で取り入れられています。

### ・ボランティアとして教える

インドの非識字率の数は、1951年の2億3千万人から今日の3億4千万人以上に増加しています。これは援助減と高出産率に起因するものです。この問題に取り組むために、3010地区のロータリアンは、他団体を動員して、デリー学校識字率プロジェクトを援助する革新的なプロジェクトに着手しました。ロータリーボランティアは、地元地域社会及び職場において非識字者を探し出し、指導しています。

### ・職場で従業員を教育する

1998年、ブラジルのサンパウロRCは、職場での教育と呼ばれるプロジェクトを開始しました。

### ・海外に書籍を送る

オーストラリアのインターアクトクラブでは、パプアニューギニアの学校図書室に千冊の書籍を送りました。これは、スポンサーのロータリークラブが、パプアニューギニアの町に書籍を送っているボランティア団体があることを知って、インターアクトが収集した書籍をロータリアンが荷づくりするのを手伝って書籍を送ったわけです。インターアクトは、その他にピクニックや野外料理を実施して集めた2百ドルに、RCから得た同額補助金を足して、書籍を海外に送っているボランティア団体に寄付しました。

### ・識字率支援グループ

毎年、RI会長により任命される支援グループは、世界各地で識字率向上活動に参加するようRCと地区に働きかけ支援しているロータリアンボランティアのグループです。

### ・識字率向上に向けての協力

国際ロータリーは、国際読書協会と協力関係を結んでいます。全ての人々が識字能力を備える事が出来るよう推進活動を行っている団体で、読書の指導

方法や質を高め、識字能力に関する研究や情報を広めることに努め、百ヶ国近くの30万人の教育者からなるネットワークです。



お客様と会長で一枚

### ・次回のプログラム

3月12日(金)

「会員増強について(夜間例会)」

会場 釧路ロイヤルイン 11F

担当: 会員増強委員会

### ・点

鐘

工藤会長

今週の会報担当: 長井一広会員